

日光 没後50年命日に関係者

【日光】山内出身の画家小杉放菴こすぎほうあんの没後50年の命日にあたる16日、小杉放菴記念日光美術館の職員と小杉放菴研究舎の会員らが所野にある放菴の墓前で手を合わせ、故人の功績をしのいだ。同美術館は12日から「没後50年 所蔵作品による小杉放菴展—前期」を開催している。9月には代表作の「水郷」を17年ぶりに公開するなど、記念の展覧会や催しを続々と企画し、郷土の偉人を顕彰いげきせいかずひろしていく。

(生沢一浩)

放菴墓前で功績しのぶ

美術館、続々と企画展



小杉放菴



小杉放菴の墓所で手を合わせる研究舎の会員

放菴の墓所を訪れたのは約10人。墓石をきれいに掃除した後、一人一人が花や線香を手向けた。研究舎を主宰する柳原一興やなぎはらかずおきさん(63)は「多方面で天才的な才能

を発揮した希少な芸術家。没後50年の節目に、放菴が残した功績を多くの方に知ってほしい」と語った。

放菴は1881年(明治14年)、日光市山内で生まれた。30歳のころに文展(現在の日本美術展覧会)で最高賞を2年連続で受賞するなど若くして洋画家としての地位を確立したが、欧州留学を経て洋画と日本画のどちらにもとらわれない独自の境地を開拓。絵だけでなく詩文や和歌でも優れた作品を残し「近代最高の文人画家」と称賛された。

開催中の展覧会では初期の代表作である油彩画「飲馬」をはじめ、市が所有す

る約1400点の中からえりすぐった約70点を展示。作品を描く前のデッサンも並べて飾られている。

展覧会の日程は次の通り。

4月12日ー5月25日 「没後50年 所蔵作品による小杉放菴展—前期」▽5月31日ー7月13日 「同一後期」▽7月19日ー8月31日 「二木直巳 眺望を求めて—小杉放菴とともに」▽9月20日ー11月3日 「没後50年 小杉放菴展」▽2015年1月1日ー2月15日 「selecti on 2015 初春—清水比庵+小杉放菴」

問い合わせは同美術館 ☎ 電話0288・500・1200へ。